

健康医療都市ひらかた コンソーシアム通信

Vol.2

【編集・発行】枚方市 健康部 健康総務課 TEL: 841-1221 FAX: 841-2470
MAIL: kenkousoumu@city.hirakata.osaka.jp

平成 24 年(2012 年)
10 月発行

健康医療
ひらがた
教育文化都市

関西医科大学附属枚方病院連携災害訓練を実施

10月20日、健康医療都市ひらかたコンソーシアム連携事業の一環として、関西医科大学附属枚方病院及び枚方寝屋川消防組合が実施する災害訓練に、枚方公済病院、市立枚方市民病院及び枚方市が参加し、情報伝達訓練や傷病者の受入れ訓練を実施しました。医療機関の連携強化し、災害発生時に迅速かつ適切な応急措置を行えるようにすることが目的です。



午前10時に開始された訓練では、66人の模擬患者が救急車で関西医科大学附属枚方病院や、同病院の敷地にテントを設置した仮想

の枚方公済病院と市立枚方市民病院へ搬送されました。関西医科大学附属枚方病院では受け入れた患者の傷病程度

にに応じてトリアージ（振り分け）をして模擬治療を行ったほか、枚方公済病院や市立枚方市民病院でも模擬治療が行われました。

市も同病院の敷地内のテントに枚方市災害医療対策会議を設置し、委員長である奥野副市長のもと、各医療機関の受入れ状況を集約する等の訓練を行いました。また、枚方市赤十字奉仕団による炊き出し訓練も併せて行われました。

訓練終了後の反省会では、奥野副市長が「現在の地域防災計画を再考する上で、本日の訓練がひとつのきっかけになったのでは」と挨拶、枚方寝屋川消防組合の溝口救急課長より患者の搬送方法などの助言があった他、関西医科大学附属枚方病院の今村病院長より「顔と顔の見える訓練が大事」、「災害時にはあらゆる知恵を出して臨機応変に対応することが求められる」との言葉がありました。

災害時において市民の安全・安心を守るためには、防災体制の強化のみならず、災害時における医療体制をいかに確保していくのが極めて重要です。健康医療都市ひらかたコンソーシアムでは、引き続き、災害医療体制の強化に向けて連携して取り組みます。

～お知らせ～

●くらわんか産業いきいきまつりの行政関係ゾーンに健康医療ブースを設置

11月10日（土）10～16時、11日（日）10～15時、淀川河川公園にて。枚方市歯科医師会の協力を得て、歯周疾患スクリーニング等を実施。参加無料。

●健康講座「知っておきたいお薬の話」

11月15日（木）15～16時、枚方公済病院2号館1階会議室にて。参加無料。（枚方公済病院）

●市民公開講座「インフルエンザについて」「不整脈の診断と最新の治療」

12月1日（土）14時～16時30分、関西医科大学附属枚方病院13階講堂にて。参加無料。（関西医科大学附属枚方病院）

～関西医科大学附属枚方病院連携災害訓練の様子～

災害発生現場



枚方市災害医療
対策会議



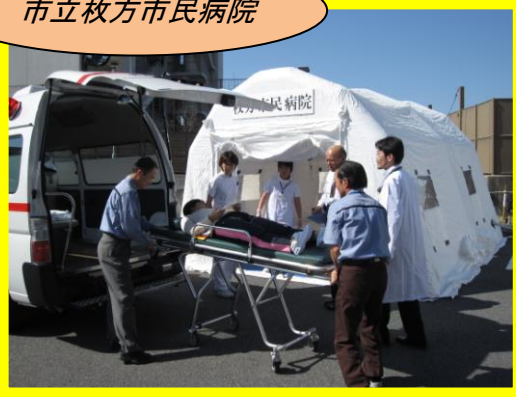
救急隊による
トリアージ



救急搬送



市立枚方市民病院



関西医科大学附属
枚方病院



枚方公済病院



枚方市赤十字
奉仕団

